

わがまち新井宿 Araijuku

山王三丁目東自治会
山王三・四丁目自治会
山王三丁目町会
中央一丁目町会
新井宿五丁目町会
新井宿六丁目町会
旧新井宿七丁目町会
..... 共同編集

◎全国の人の対象とした成人善行表彰が十一月二十日に行なわれました。当地区からは三十年にもわたる環境美化活動により、野村八重様が受賞しました。

◎十月六日、東京都知事より青少年対新井宿地区委員会の植田信行副会長に、東京都青少年育成協力者等感謝状が贈られました。

◎永きにわたり日赤奉仕活動にご尽力いただいた方々に対し、

戯曲・小説家でもあり、わかり易い国語表記・当用漢字の普及など幅広い分野で足跡を残した山本有三もまた新井宿ゆかりの人物でした。



大正から昭和初期にかけての文化人

山本 有三

昔の住居表示で新井宿三丁目一三六一番。生垣に囲まれた和風の二階家に山本有三と家族が住んだのは、昭和二十一年の暮れ、有三 五十九才の時から七年間のことでした。現在はマンションに建て替えられて、この家は残つていませんが、その敷地の角に似顔絵入りの案内板が立てられています。

この戦後の変革期、有三は創作よりもむしろ、国語・国字問題の改革に情熱を傾けました。それまでの読みにくい漢字力た力なまじりの文語体文章から、易しい用語・用字で表現する口語体に改めるよう提案し、実践に努めました。また、日本国憲法のひらがな書き口語化を強く

政府に進言しています。翌二十二年こうした運動を行政側からバツクアップするため、自ら参議院議員に立候補し、当選する」と、「国立国語研究所設置法」「国民の祝日に関する法律」「年齢のとなえ方にに関する法律」「文化財保護法」「文化功労者年金法」などの成立に力を尽しました。

任期六年を終えて、湯河原に転居しました。

有三の目指す国語改革も、彼の子供達が難しい漢字やかなづかいを苦労して覚えていく様子を見ていたことがきっかけになりました。年齢の改革も、十二月半ば生まれの子供が半月もたたずく「かになつてしまふ」数え方の矛盾を強く感じていたからだ



昭和二十一年ひろの有三

①ひつたくりの多発防止
・道路を歩く時ハンドバッグ等を入れる時は、ひつたくり防止ネットを利用しましょう。
・暗い通りの少ない夜道はさ止めましょう。
・銀行などで多額の現金を引き出した時や預けに行く時は、十

件近く発生しました。

②自転車の前カゴにハンドバッグ等を入れる時は、ひつたくり防止ネットを利用しましょう。
・暗い通りの少ない夜道はさ止めましょう。
・銀行などで多額の現金を引き出した時や預けに行く時は、十

上旬までに、ひつたくりが六十件近く発生しました。

年末・年始 情報ファイル



年末・年始

情報ファイル

分注意しましよう。

②歳末パトロールの強化

各自治会・町会では、歳末パトロールを組織して、特に暗い路地を重点的に巡回し、町の安全を図るよう努めています。

* 神社の行事情報

年末年始にかけて、それぞれの神社で、年末大祓、除夜祭、元旦初詣、神社めぐりバス旅行、節分祭などの行事を予定しております。皆様、奮ってご参加ください。

（熊野神社の除夜と元旦）
除夜の鐘を合図に、地元の「仲睦会」の皆さんのお仕事によつて、一年の開運、商売繁昌を祈る参拝の方々に、御神酒と温

ります。皆様、奮ってご参加ください。

（仲睦会の除夜と元旦）
除夜の鐘を合図に、地元の

「仲睦会」の皆さんのお仕事によつて、一年の開運、商売繁昌を祈る参拝の方々に、御神酒と温

ります。皆様、奮ってご参加ください。

（大森警察署管内では本年七月上旬までに、ひつたくりが六十件近く発生しました。

かいお汁粉が振る舞われます。
（春日神社の除夜と元旦）
大晦日の夜から、元旦を迎える午前一時頃まで、地域の若い人々の集まり「新春会」の皆さんが、初詣に参拝の方々に、御神酒と温かい蒸し芋を用意しております。

* 資源（古紙）の回収が始まりました

年末・年始

情報ファイル

今回一面は、国語改革で努力されました山本有三氏を、二・三面は町の風特集として皆様の身近な情報を紹介してみました。副編集長の松浦カズ子様が退任されました。長い間ご指導ありがとうございました。これにあわせて、可燃ごみ収集が週三回から週一回に、また収集曜日・収集開始時間が変更になりました。

なお、自治会・町会では引き

続き集団回収を実施していますので、家庭から出る新聞・雑誌・ダンボール等はこれら是非ご利用ください。

編集後記

十月七日東京都赤十字大会にて有功章・感謝状が贈られました。
（金色有功章） 鎌田 美津
（銀杯支部長感謝状） 赤坂 秀子
平林 祥子 中嶋 芳枝
中村 政恵 延島 千枝子
中井富久江 吉田 豊子
鴻井 慶治 野口 宏

濱 隆夫 中井 香代
平出 今子 湯本エイ子
小田井可子 松村キヨ子
中村よしこ 阿部 篤子
奥山とよ子 藤井美代子
大沢 正子 平林はる江
平林貴以子 代 鈴子 矢花サイ子
平林はる江 車田 昌一
齊藤富喜子 木根 静子
前田 律子 中脇 成子
小野崎麻里子 （敬称略）

平成十一年度の編集委員会	編集長	副編集長	副編集委員	編集委員	編集委員	編集委員	副編集長	副編集委員
事務局	大井田浩見	延島 武男	立石 康子	吉村 悅子	飯野 綾子	高橋紗英子	平林清太郎	林 富美
新井宿地区自治会連合会								
大田区新井宿特別出張所								
大田区中央四一三一四								
三七七六一五三九一								

といわれます。日本の将来を担う子供達の成長を見守り、より良い文化を残すこと願う熱意ある取り組みが、還暦を過ぎてからの有三の政治への工ネルギーを作り出していたのではないでしょうか。

新井宿のこの地が、意義ある時代の流れの中で、少なからず関わりのあつたことに新鮮な喜びを感じます。

